

## 破綻した「名古屋港イタリア村」

P F I 事業として名古屋港管理組合が進めた商業施設「名古屋港イタリア村」が5月7日、東京地裁から破産手続きの開始決定を受けた。イタリア村は2005年4月に開業したが、初年度の入場者数は



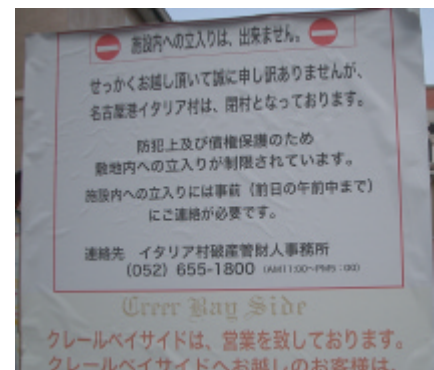
約400万人に達したが、万博閉幕後の07年度には約130万人に激減した。万博に開業を合わせるため、市条例違反の木造建築であることも判明して、わずか3年で破綻することになった。写真はガーデン埠頭に向かう船から撮ったイタリア村である。

船を降りてイタリア村に向かうと、閑散とした入口には破産管財人の名で「イタリア村は、閉村になっております」という看板がかかっていた。人通りはすっかり途絶え、廃墟のようだ。近くの結婚式場だけは営業しており、かなり先まで予約で一杯というが、

一帯は結婚式といった華やいだ感じとは程遠い。



イタリア村はP F I 事業



のモデルとして、国の外郭団体「都市みらい推進機構」から表彰されたこともある。なにかと評判が悪かった第三セクターに代わって、鳴り物入りで登場したP F Iであるが、名古屋港イタリア村の破綻から、第三セクターのような「官と民のもたれあい」、あいまいな責任の所在といった問題点が見えてくる。 (2008年7月15日 記)